BCOT
BUNKYO CIVIC ORCHESTRA TOKYO
EST.1993

文京区民オーケストラ
第30回 定期演奏会
―松下功先生追悼―

作曲家・指揮者
松下 功

Program

松下 功
シンフォニック・ポエム
「夢の航跡」

ガーシュウィン
ラプソディ・イン・ブルー
ピアノ独奏：土屋 律子

ブラームス
交響曲第1番 ハ短調

指揮
山上 貴司

ピアノ
土屋 律子

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター 1F

● 交通アクセス

・東京メトロ丸ノ内線・南北線「**後楽園**」駅【直結】
・都営地下鉄三田線・大江戸線「**春日**」駅【直結】
・B–ぐる（文京区コミュニティバス）停留所 1 番
「**文京シビックセンター（春日駅前）**」

http://bunkyocivichall.jp/access/

2019. 6/2 日
13:30開場
14:00開演

文京シビックホール 大ホール

1,000円（全席自由）

※未就学児童の入場はお断りいたします
※当日券はホール入口にて13:00より販売いたします

チケットのご購入・お問い合わせ

TEL. 090-9804-0980　Mail. bcot.ensoukai@gmail.com
ウェブサイト▶http://www.BCOT.info/
Facebook▶https://www.facebook.com/BCOT.orchestra/

【後　援】文京区 / 文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

指揮　山上 貴司（Takashi Yamakami / ファゴット奏者・指揮者）

長野県長野市出身。高校１年から霧生吉秀氏の手ほどきによりファゴットを始める。東京藝術大学音楽学部及び同大学院でファゴットを専攻。同大学在学中から一般大学の学生へのファゴット指導及び学生オーケストラのトレーナーを務める。東京理科大学、国際基督教大学、中央大学、早稲田大学等の学生オーケストラ、葛飾フィルハーモニー管弦楽団、カメラータ・ナガノ、文京区民オーケストラ等の市民オーケストラの指導者として研鑽を積む。東京都立芸術高校、東京都立総合芸術高校において指揮者としてオーケストラ指導を33年間続け、本年の3月末日をもって同校を定年退職した。
日本ファゴット（バスーン）協会副会長、アジアダブルリード協会理事。2015年東京で開催された国際ダブルリード協会のカンファレンス実行委員長を務め、過去最大規模の大会を成功裡に導いた。

ピアノ　土屋 律子（Ritsuko Tsuchiya）

桐朋学園女子高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部（ピアノ専攻）卒業。ピアノを故大島正泰氏に、室内楽を故斎藤秀雄氏に師事。在学中よりテレビ、FM等に多数出演。オーケストラとの共演、各地でのリサイタル、内外の数々のソリストたちとの共演、国際コンクールの公式伴奏者、新ヴィヴァルディ合奏団のチェンバロ奏者をつとめる等バロックから現代まで幅広い分野で活動。1988年には「国際現代音楽祭―世界音楽の日々・香港大会」において香港フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして招聘され、好評を博す。1992年、1994年、「アンサンブル東風」香港・バンコク公演に参加。1996年には北京・中国放送交響楽団と共演。
高崎短期大学講師、桐朋学園嘱託教員を歴任。ミューズ会、Rhyme勉強会を主宰。2007～2013年、ベートーヴェンのピアノとヴァイオリンの為のソナタ　全10曲を順番に取り上げながら、様々な楽器とのアンサンブルを組み込んだプログラムでの「土屋律子コンサートシリーズ」を開催。

松下 功（Isao Matsushita / 作曲家・指揮者）

東京藝術大学、及び同大学院修了後、ベルリン芸術大学において研鑽を積む。日本音楽コンクール作曲部門入賞、メンヒェングラート・バッハ市国際作曲コンクール第1位、第7回入野賞受賞。「World Music Days グラーツ大会・香港大会・メキシコ大会」「ベルリン芸術祭」「アジア音楽祭」等、多くの音楽祭でその作品が演奏されている。1996年、北京において「松下功管弦楽作品演奏会」が開催される。1998年長野冬季オリンピックにおいて行進曲「信濃民謡パラフレーズ」やオペラ「信濃の国・善光寺物語」の作曲を担当する。和太鼓協奏曲「飛天遊」は、ベルリン・フィル、ザグレブ・フィル、シドニー交響楽団、東京フィルハーモニー、広島交響楽団をはじめ、世界各地のオーケストラで演奏され好評を得ている。作曲・指揮・音楽企画など幅広く活動。アジアの現代音楽に詳しく、アジア各地の作曲家との交流も深い。指揮者としても、古典から現代、バレエまで幅広いレパートリーを持っている。文京区民オーケストラ第20回定期演奏会で初演した作品《天空の祈り》～とうとき命へ～は、その後、スイス、ドイツのオーケストラにより演奏され高い評価を受けている。
東京藝術大学副学長・演奏藝術センター教授、一般社団法人日本作曲家協議会会長、アジア作曲家連盟会長、一般社団法人アーツ・イノヴェーション・プロジェクト理事長、2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育専門委員等歴任。文京区民オーケストラ指揮者、アンサンブル東風代表、カメラータ・ナガノ音楽監督兼常任指揮者。文京区民オーケストラ設立時より25年にわたり指揮・指導を務めた。2018年9月16日逝去。

文京区民オーケストラ

文京区を本拠地として、1993年6月に有志により発足したアマチュアオーケストラ。団員数は約90名。年齢層は20代から70代までと幅広く、学生、会社員、主婦など様々な立場の人々によって構成され、毎週日曜日に集まり練習に励んでいる。これまで日本最高レベルの演奏家のほか、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなど海外の一流演奏家とも共演する機会に恵まれてきた。これは、創立当初から指揮者・指導者として25年間途絶えることなくご指導いただいた松下先生のご尽力の賜物である。